B5FJ-5981-01-00

FUJITSU

このマニュアルでパソコンの設置を行います。

FMV-DESKPOWER

CE80YN, CE40Y9, CE40YN

0711-1

T4988618582841

1 添付品がすべて揃っているか確認してください

保証書で機種名(品名)を確認してください

※機種名は本体の箱でも確認できます。

保証書は梱包箱に貼り付けられています。

機種名を記入してください。

■イラストについて

このマニュアルに表記されているイラストは一例です。お使いの機種によって、イラストが若干異なることがあります。また、このマニュアルに表記されているイラストは説明の都合上、本来接続されているケーブル類を省略していることがあります。

重要

添付品は、お客様ご自身で大切に保管してください。添付品を紛失された場合は、ご提供できないものもありますので、ご了承ください。

機種によって添付品の内容は異なります。添付品を確認したらチェックを付けてください。

全機種共通の添付品

※キーボードケーブル、マウスケーブル、電源ケーブルなどを束ねているバンド（針金）は、必ず取り外してからお使いください。

- □パソコン本体

- □PS/2 キーボード

箱入り

キーボードは、このパソコン専用です。誤動作や故障の原因となる場合がありますので、他の機種のパソコンに接続してご使用にならないでください。

- □横スクロール機能付 USB マウス（光学式）

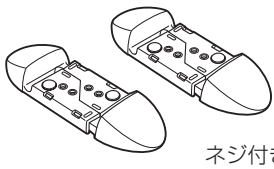
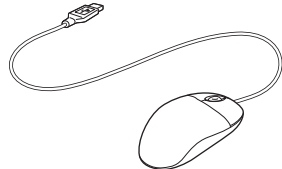
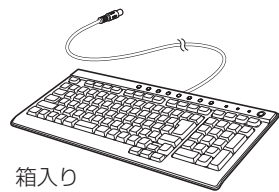
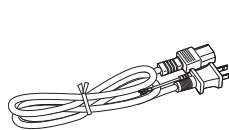
- □フット（設置台）

ネジ付き

- □パソコン本体用電源ケーブル

- □保証書

梱包箱に貼付

- □FeliCa ポート・カードホルダー

「FeliCa Reader/Writer」というラベルが貼ってある箱に入っています。

機種により異なる添付品

お使いの機種名をご確認ください。

□マニュアル・ディスクセット

マニュアル・ディスクセットの中身を確認してください。

- ■スタートガイド1　設置編
  ※このマニュアルです。
- □スタートガイド2　セットアップ編
- □ここが変わった！ Windows Vista
- □FMV取扱ガイド
- □トラブル解決ガイド
- □サポート&サービスのご案内
- □安心してお使いいただくために
- □各種ご案内

□ディスクセット

- □リカバリ & ユーティリティディスク
- □アプリケーションディスク 1
- □アプリケーションディスク 2
- □FMV画面で見るマニュアル
- ◎CE40Y9 の場合
  - □プロアトラス SV3 for FUJITSU
  - □広辞苑 / 現代用語の基礎知識 / 学研パーソナル統合辞典

●CE40Y9（Office Personal 2007 モデル）の場合

□Microsoft® Office Personal 2007 のパッケージ
※あらかじめインストールされています。

●次の機種で「Office Personal 2007 セット」を選択した場合 CE80YN, CE40YN

□Microsoft® Office Personal 2007 のパッケージ
※あらかじめインストールされています。

追加ディスク
- □プロアトラス SV3 for FUJITSU
- □広辞苑 / 現代用語の基礎知識 / 学研パーソナル統合辞典

この他に注意書きの紙、カタログ、パンフレットなどが入っている場合があります。

重要

添付のディスク類は、このパソコンをお使いになるうえで重要なものですので大切に保管してください。なお、故障などパソコン本体を修理に出すときは、「リカバリ＆ユーティリティディスク」を添付してください。

●CE40Y9（Office Personal 2007 with PowerPoint 2007 モデル）の場合

□Microsoft® Office Personal 2007 のパッケージ
※あらかじめインストールされています。

□Microsoft® Office PowerPoint® 2007 のパッケージ
※あらかじめインストールされています。
初めて起動した場合には、「PowerPoint 2007」のパッケージに同梱されているプロダクトキーの入力が必要になります。プロダクトキーは、半角英数字で入力してください。

●次の機種で「Office Personal 2007 with PowerPoint 2007 セット」を選択した場合 CE80YN, CE40YN

□Microsoft® Office Personal 2007 のパッケージ
※あらかじめインストールされています。

□Microsoft® Office PowerPoint® 2007 のパッケージ
※あらかじめインストールされています。
初めて起動した場合には、「PowerPoint 2007」のパッケージに同梱されているプロダクトキーの入力が必要になります。プロダクトキーは、半角英数字で入力してください。

追加ディスク
- □プロアトラス SV3 for FUJITSU
- □広辞苑 / 現代用語の基礎知識 / 学研パーソナル統合辞典

●CE40Y9 の場合
●次の機種で「ディスプレイ」を選択した場合 CE80YN, CE40YN

ディスプレイの箱に入っています

- □液晶ディスプレイ

- □アナログディスプレイケーブル

- □電源ケーブル

- □オーディオケーブル

ご購入後1ヶ月以内の添付品の不足に関するお問合せ窓口

「故障や修理に関する受付窓口」内
富士通パソコン診断センター
0120-926-220
24時間　365日受付　通話料無料

携帯電話、PHS、海外からはこちら
045-514-2260（通話料金お客様負担）
受付時間：9:00 ～ 17:00

音声ガイダンスに従って窓口番号を選択してください。

※電話番号はお間違いのないように、十分ご確認の上おかけください。
※システムメンテナンスのため、サポートを休止させていただく場合があります。
※音声ガイダンスの内容・操作方法・受付時間は、予告なく変更させていただく場合があります。

音声ガイダンスで「番号が確認できません」というメッセージが流れたら
●プッシュボタン式の電話機で、電話回線の契約が「ダイヤル回線」の場合
→電話がつながった後に、トーン切替ボタン（一般的に ✱ ボタン）を押してください。
●ダイヤル式の電話機（一般的な黒電話機）の場合
→電話がつながった後、窓口選択ができませんので、ダイヤルせずにそのままお待ちください。

☆添付品が不足していた場合は、お手数をおかけいたしますが、1ヶ月以内に左記「富士通パソコン診断センター」までご連絡ください。ご購入後1ヶ月を過ぎますと、有料になる場合やご提供できないものもありますので、あらかじめご了承ください。
☆パソコンの操作や技術的なご質問・ご相談につきましては、ご購入後1ヶ月以内でも「Azbyテクニカルセンター（富士通パーソナル製品に関するお問合せ窓口内 0120-950-222）」をご利用ください。<事前にユーザー登録が必要です。>
☆ハードウェアトラブルで「富士通パソコン診断センター」にご相談いただく場合は、まずトラブルの状況について診断させていただきます。お客様の必要なデータはバックアップをしておいてください。
☆ご購入後1ヶ月を過ぎた製品の故障・修理相談については、「富士通パーソナルエコーセンター（故障や修理に関する受付窓口内）」をご利用ください。
☆サポート＆サービスの詳細につきましては、同梱冊子「サポート＆サービスのご案内」をご覧ください。

② 使用および設置場所を確認してください

パソコンをお使いになる前に、『安心してお使いいただくために』をお読みください。

パソコンは次のような場所でお使いください

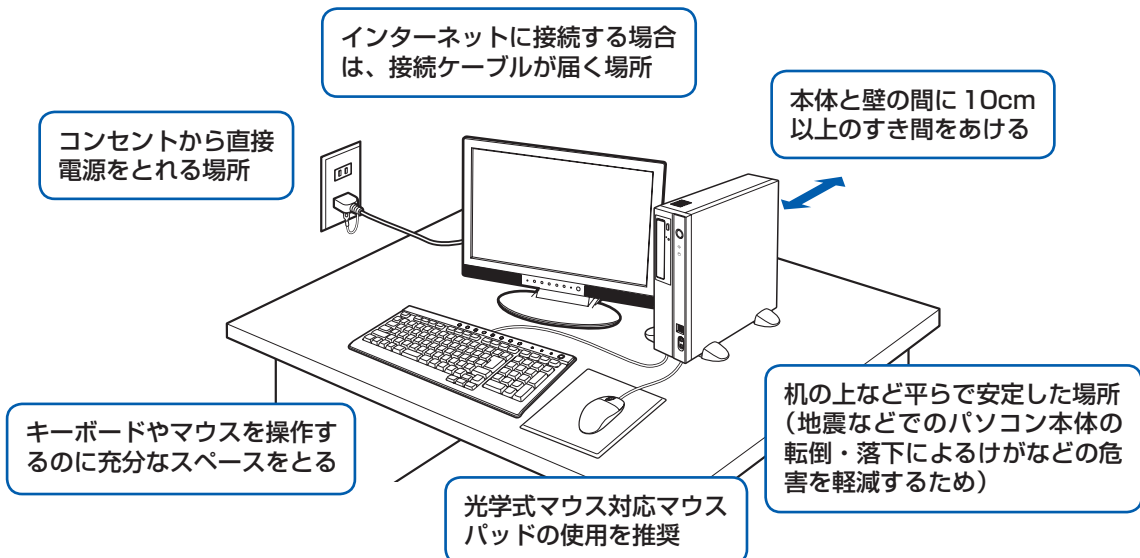
インターネットに接続する場合は、接続ケーブルが届く場所

コンセントから直接電源をとれる場所

本体と壁の間に 10cm 以上のすき間をあける

キーボードやマウスを操作するのに充分なスペースをとる

机の上など平らで安定した場所（地震などでのパソコン本体の転倒・落下によるけがなどの危害を軽減するため）

光学式マウス対応マウスパッドの使用を推奨

空気の流れ

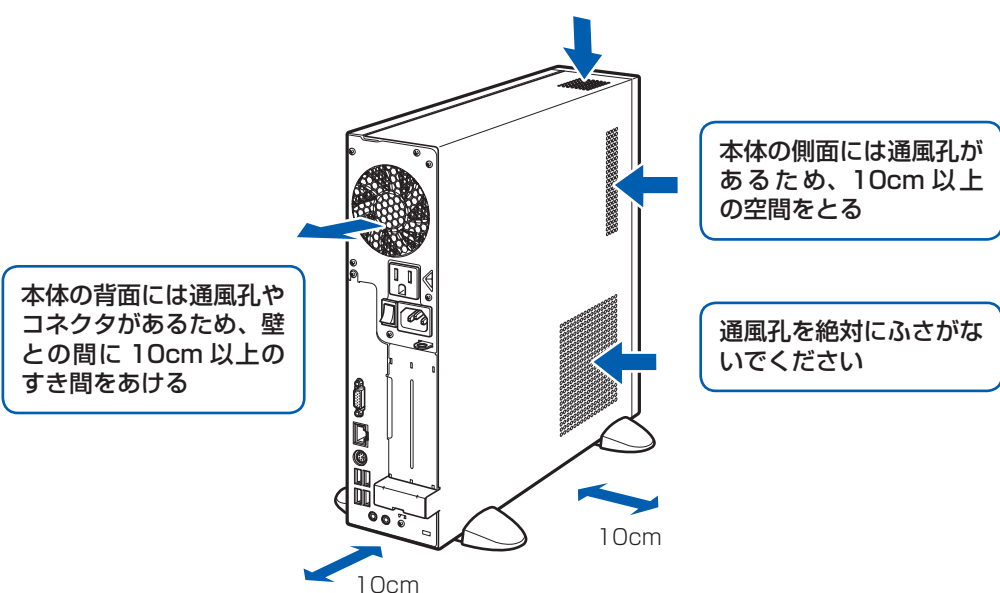
このパソコンの空気の流れは次の図のとおりです。

本体の側面には通風孔があるため、10cm 以上の空間をとる

通風孔を絶対にふさがないでください

本体の背面には通風孔やコネクタがあるため、壁との間に 10cm 以上のすき間をあける

10cm

10cm

パソコンは次のような場所ではお使いにならないでください

パソコンを次のような場所でお使いになると、誤動作、故障、劣化、受信障害の原因となります。

直射日光の当たる場所

通風孔をふさぐおそれのあるものの近く（カーテンなど）

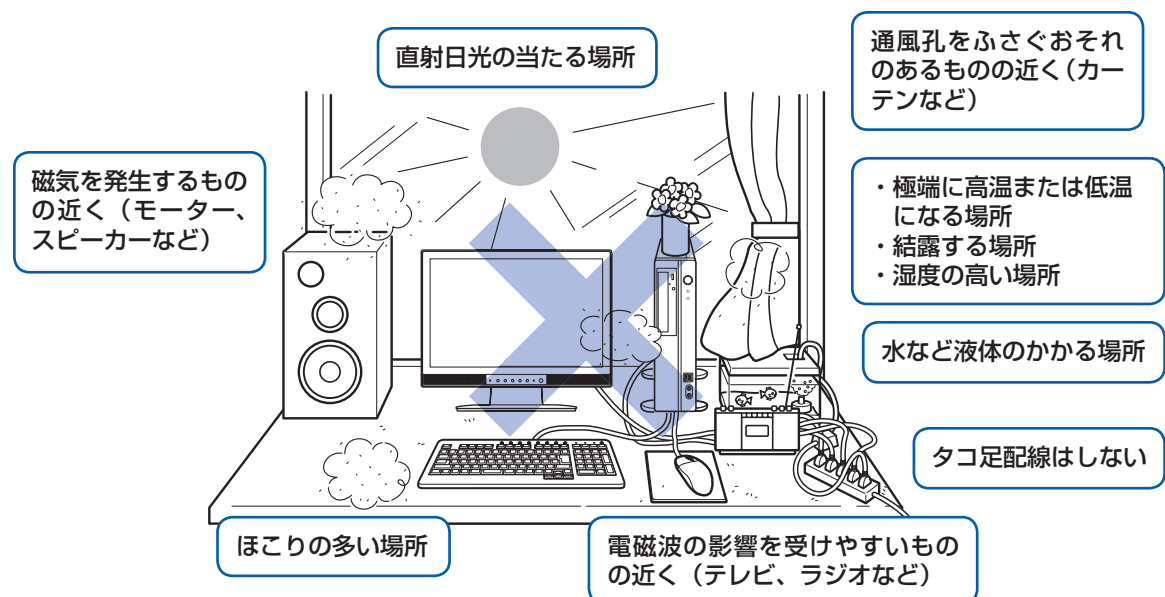
磁気を発生するものの近く（モーター、スピーカーなど）

・極端に高温または低温になる場所
・結露する場所
・湿度の高い場所

水など液体のかかる場所

タコ足配線はしない

ほこりの多い場所

電磁波の影響を受けやすいものの近く（テレビ、ラジオなど）

・台所などの油を使用する場所の近く
・空気の流れが悪く熱のこもりやすい場所（棚、ドア付 AV ラックなど）
・パソコンの前後左右および上部に充分なスペースをとれない場所

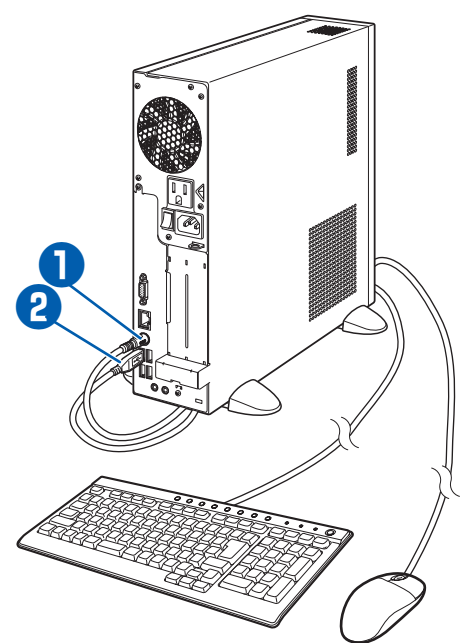
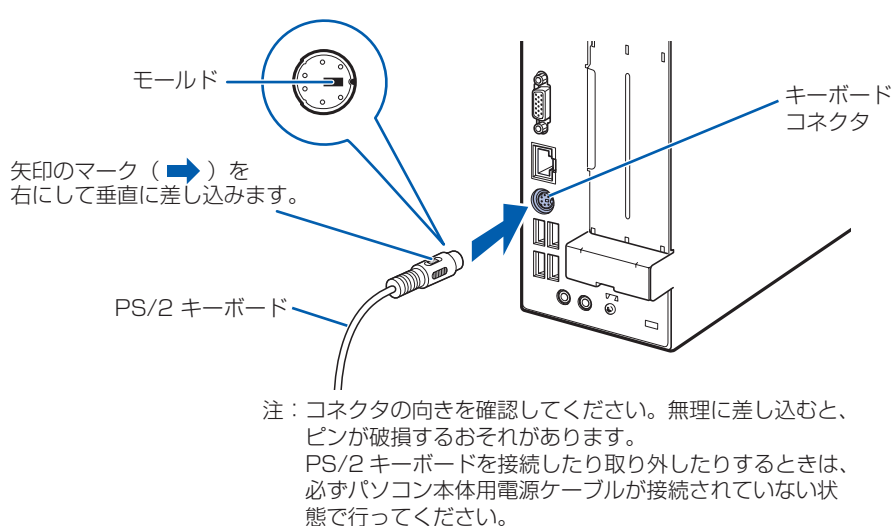
パソコン本体についての注意

・本製品の近くで携帯電話や PHS［ピーエイチエス］などを使用すると、画面が乱れたり、異音が発生したりする場合がありますので、遠ざけてお使いください。
・本製品をご使用中に、パソコン本体内部の熱を外に逃がすためのファンの音や、ハードディスクドライブがデータを書き込む音、CD/DVD が回転する音などが聞こえる場合がありますが、これらは故障ではありません。
・本製品をご使用中に、パソコン本体が熱を持つため熱く感じられることがありますが、これらは故障ではありません。
・雷が鳴り出したら落雷の可能性がなくなるまで、パソコン本体やケーブル類、およびそれらにつながる機器に触れないでください。いったん落雷がおさまった後でも、再び落雷の可能性がある場合は、パソコンの電源を切るだけでなく、すべてのケーブル類を抜いておいてください。

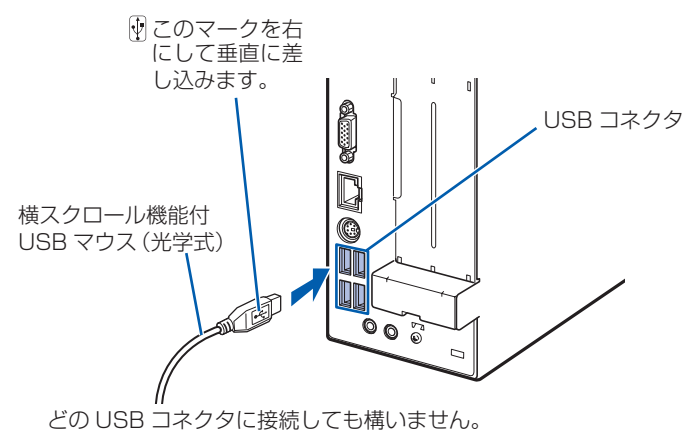
このパソコンを設置するときの注意

このパソコンを設置するときは、パソコンと設置面の間に、指などをはさまないように注意してください。

ここまで確認が終わったら、接続を始めましょう。

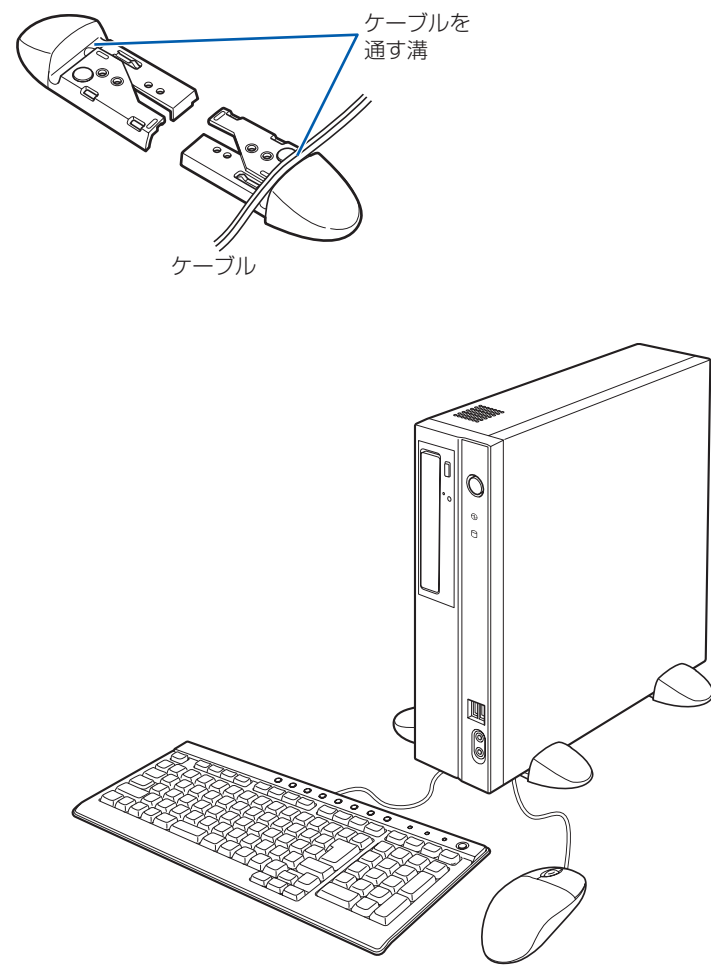
③ キーボード／マウスを接続する

❶ PS/2 キーボードを、パソコン本体背面のキーボードコネクタに接続します。

❷ 横スクロール機能付 USB［ユーエスビー］マウス（光学式）を、パソコン本体背面の USB コネクタに接続します。

注：コネクタの向きを確認してください。無理に差し込むと、ピンが破損するおそれがあります。
PS/2 キーボードを接続したり取り外したりするときは、必ずパソコン本体用電源ケーブルが接続されていない状態で行ってください。

どの USB コネクタに接続しても構いません。

④ フット（設置台）を取り付ける

縦置きでお使いになる場合

フット（設置台）を取り付けないと、転倒して故障の原因となることがあります。必ず取り付けてください。

キーボードやマウスのケーブルを、フットの溝に通してまとめることができます。

1. パソコン本体を上下さかさまにします。
2. パソコン本体底面にフットを取り付けます。
   フット背面にあるネジ穴に、ネジで固定します。
3. パソコン本体の上下を元に戻します。

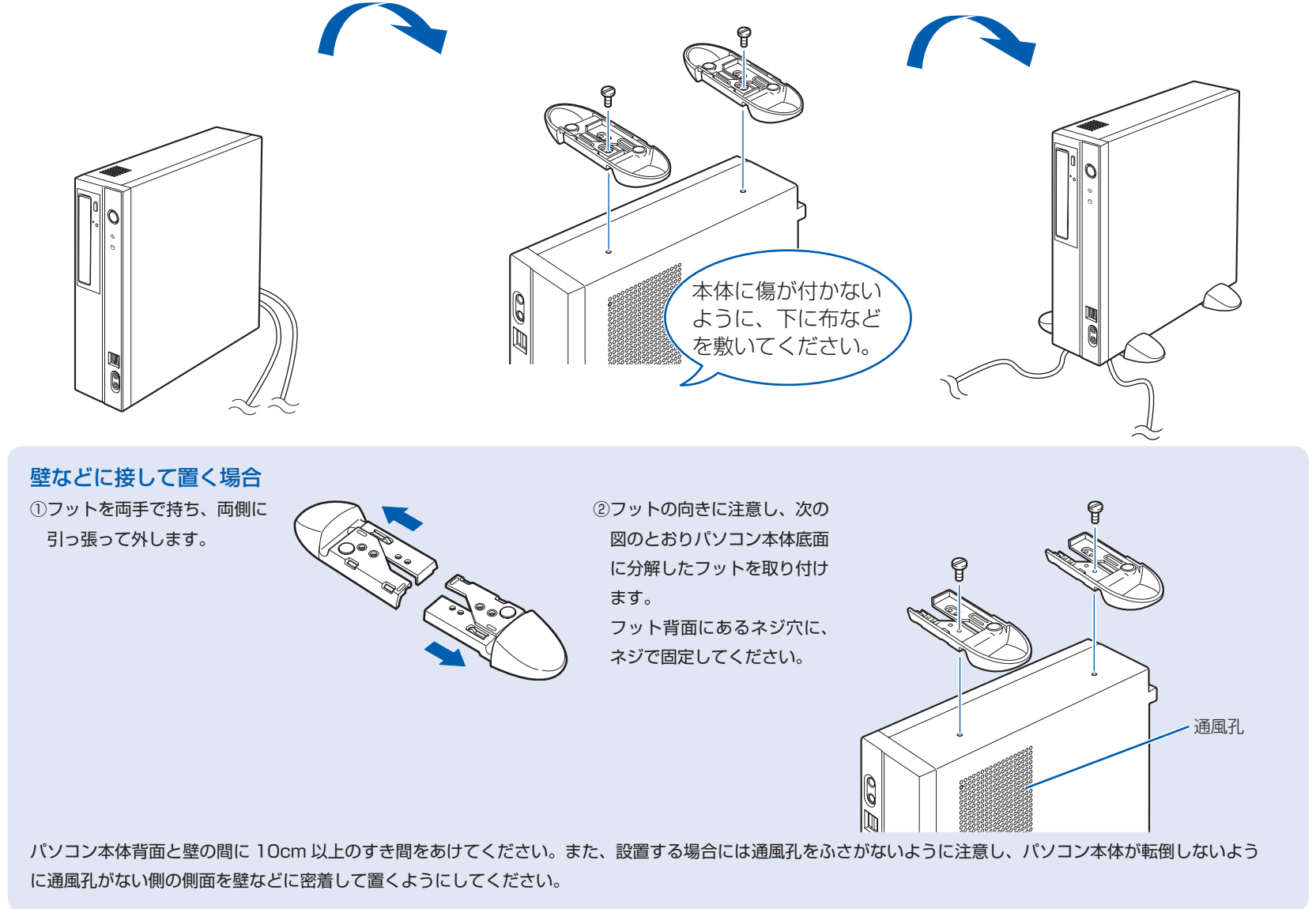
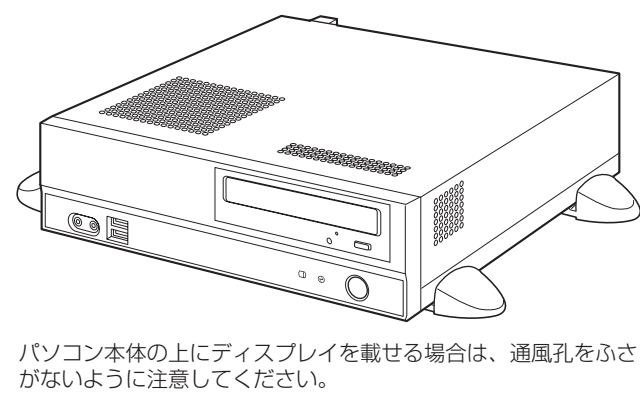
壁などに接して置く場合

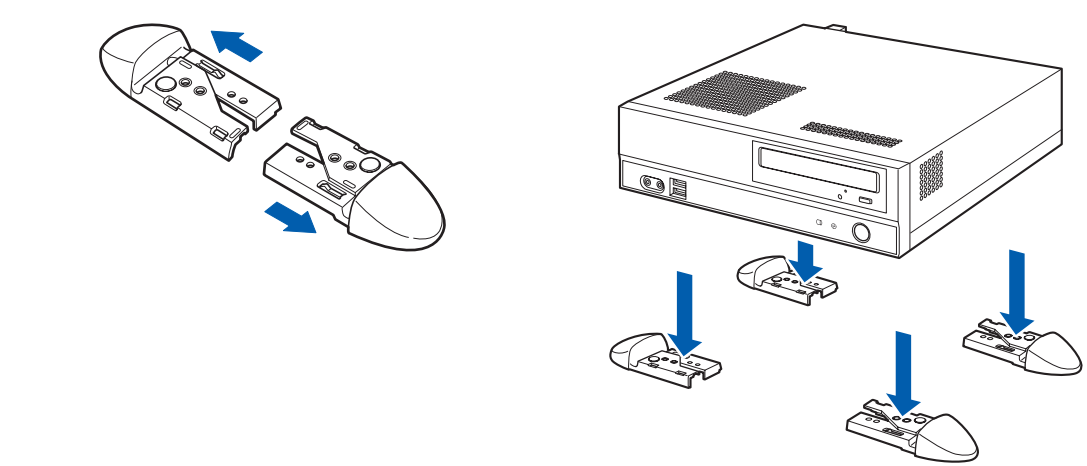
①フットを両手で持ち、両側に引っ張って外します。

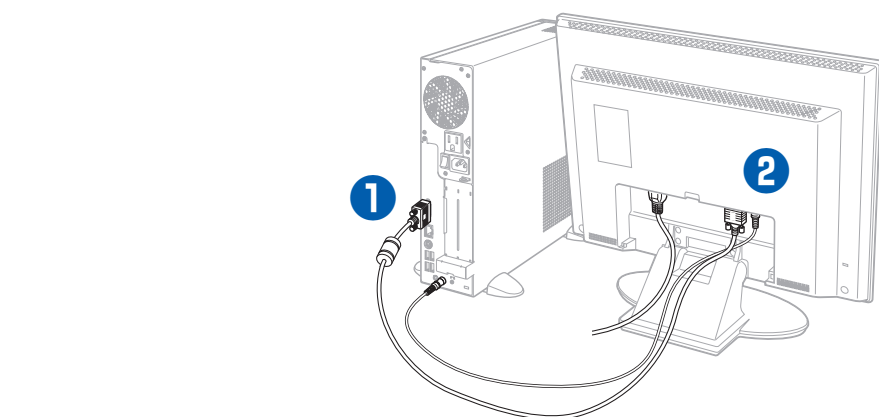
②フットの向きに注意し、次の図のとおりパソコン本体底面に分解したフットを取り付けます。
フット背面にあるネジ穴に、ネジで固定してください。

パソコン本体背面と壁の間に 10cm 以上のすき間をあけてください。また、設置する場合には通風孔をふさがないように注意し、パソコン本体が転倒しないように通風孔がない側の側面を壁などに密着して置くようにしてください。

横置きでお使いになる場合

パソコン本体の上にディスプレイを載せる場合は、通風孔をふさがないように注意してください。

1. フットを両手で持ち、両側に引っ張って外します。

2. フットをパソコン本体の幅に合わせて置き、パソコン本体を載せます。

⑤ ディスプレイを接続する

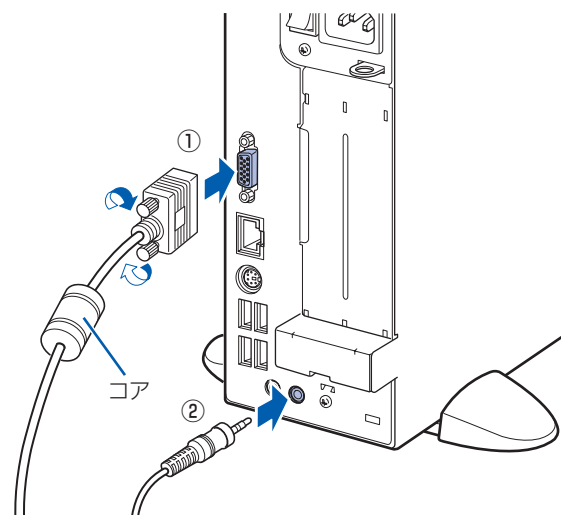
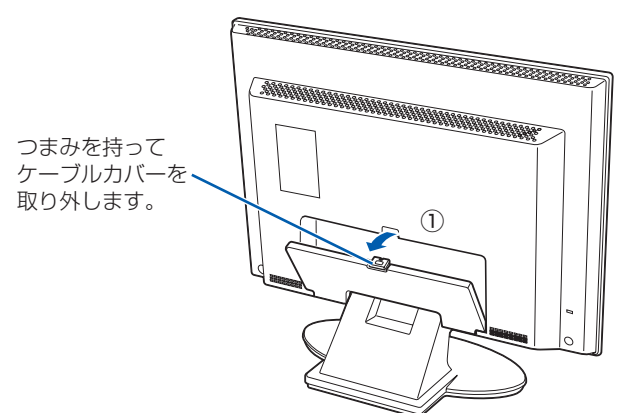
ディスプレイが添付されている場合

1. パソコン本体背面へケーブルを接続します。
   ① アナログディスプレイケーブルのコネクタを接続します。
   コネクタと差し込み口の形状を確認して奥までしっかりと差し込みます。
   接続した後にネジを締めます。

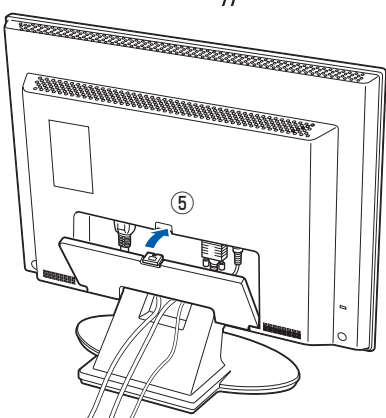
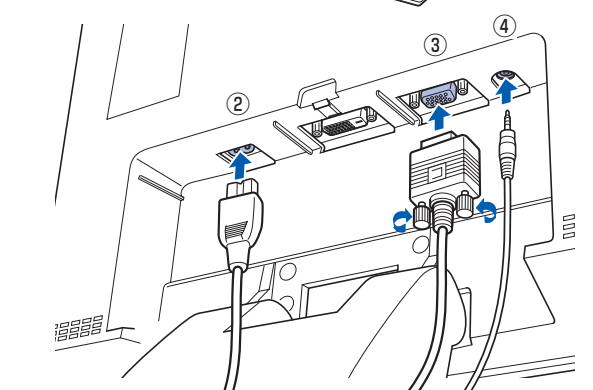
アナログディスプレイケーブルについて

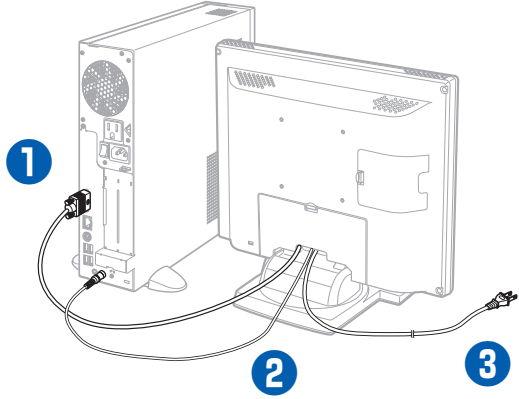
アナログディスプレイケーブルは、コアがある方をパソコン本体側に接続してください。

   ② オーディオケーブルのプラグを接続します。

オーディオケーブルについて

オーディオケーブルは、必ずパソコン本体に接続してください。接続しないと、パソコンの音が正しく聞こえないことがあります。

2. ディスプレイ背面へ、添付のディスプレイ用電源ケーブル、アナログディスプレイケーブル、およびオーディオケーブルを接続します。
   ① ディスプレイ背面のケーブルカバーを取り外します。

   ② ディスプレイ用電源ケーブルを、ディスプレイ背面の電源コネクタに接続します。
   ③ アナログディスプレイケーブルを、ディスプレイ背面のアナログディスプレイコネクタに接続します。接続後、コネクタの２つのネジを締めます。
   ④ オーディオケーブルを、ディスプレイ背面のオーディオ入力端子に接続します。

   ⑤ ディスプレイ背面のケーブルカバーを取り付けます。

ディスプレイ部分を前面側に充分倒してから、ケーブルカバーを取り付けてください。

ディスプレイが添付されていない場合

お使いのディスプレイのマニュアルもあわせてご覧ください。

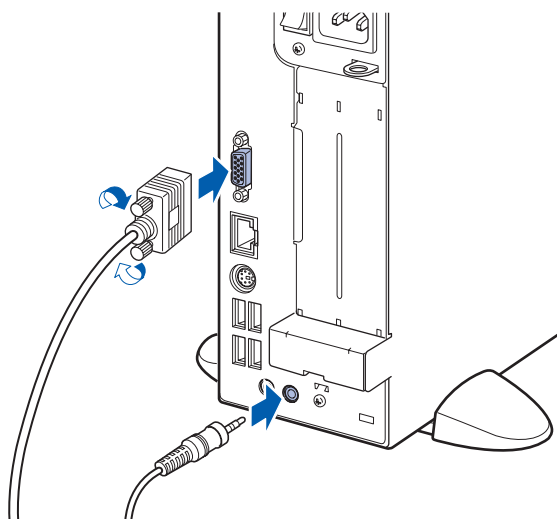
出荷時の画面設定は 1024 × 768、最高（32 ビット）、60 ヘルツです。お使いのディスプレイによっては、画面が正しく表示されないことがあります。お使いのディスプレイのマニュアルをご覧になり、正しく表示できることを確認してください。また、正しく表示されない場合には、リフレッシュレートの調整やモニタ側での調整を行ってください。

1. **パソコン本体背面へディスプレイケーブルを接続します。**

   コネクタと差し込み口の形状を確認して奥までしっかりと差し込みます。
   接続した後にネジを締めます。

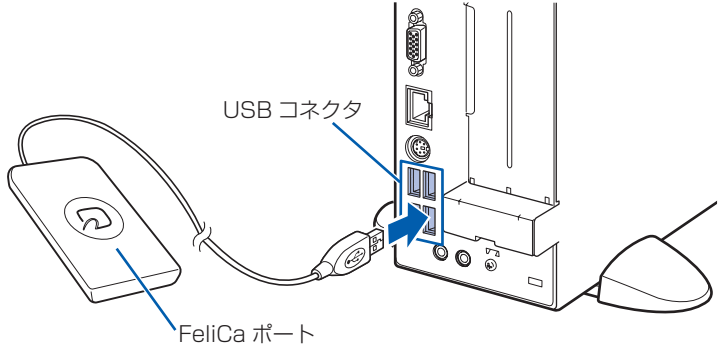
2. **パソコン本体背面へオーディオケーブルを接続します。**

   オーディオケーブルを接続しないと、パソコンの音声を出力することができません。ディスプレイに添付されていない場合は、お客様で用意してください。

3. **ディスプレイ用の電源ケーブルを接続します。**

6 FeliCa ポートを接続する

このパソコンですぐに FeliCa［フェリカ］ポートを使用しない場合は、ここで接続する必要はありません。後からでも接続できます。

1. **FeliCa ポートを、パソコン本体背面の USB［ユーエスビー］コネクタに接続します。**

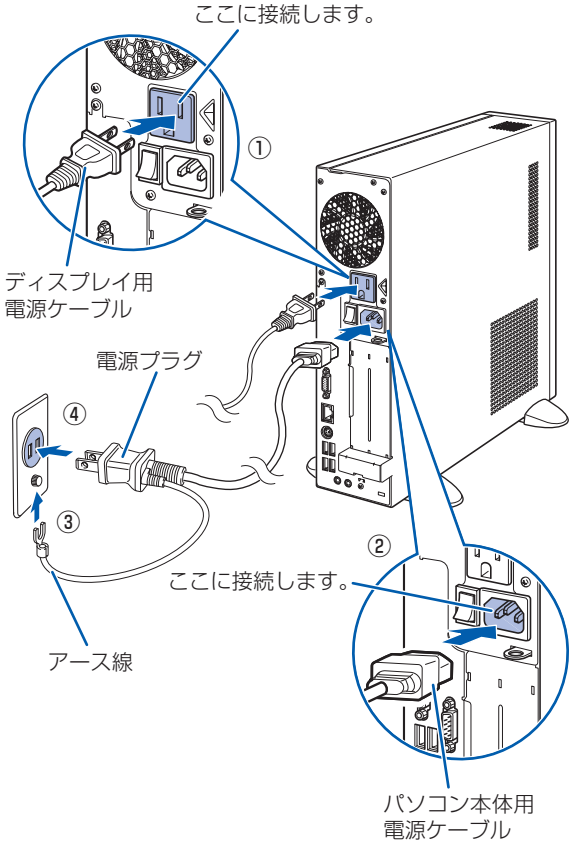
   どの USB コネクタに接続しても構いません。

7 電源ケーブルを接続する

1. **電源ケーブルを、接続します。**

   ① ディスプレイ用電源ケーブルをパソコン本体背面に接続します。

   ② パソコン本体用電源ケーブルをパソコン本体背面に接続します。

   ③ アース線をコンセントのアースネジに差し込みます。

   ④ 電源プラグをコンセントに差し込みます。

電源プラグとコンセント形状の表記について

このパソコンに添付されている電源ケーブルの電源プラグは「平行 2 極接地用口出線付プラグ」です。マニュアルでは「電源プラグ」と表記しています。

接続先のコンセントには「平行 2 極接地用口出線付プラグ（125V15A）用コンセント」をご利用ください。通常は、ご家庭のコンセントをご利用になれます。マニュアルでは「コンセント」と表記しています。

※「接地用口出線」とはアース線、「接地極」とはアースネジのことです。

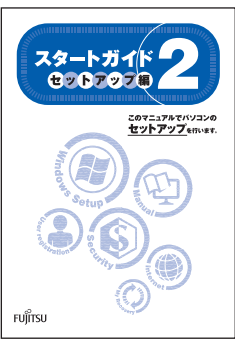
液晶ディスプレイに添付されている電源ケーブルの電源プラグは「平行 2 極プラグ」です。マニュアルでは「電源プラグ」と表記しています。接続先のコンセントには「平行 2 極プラグ（125V15A）用コンセント」をご利用ください。通常は、ご家庭のコンセントをご利用になれます。マニュアルでは「コンセント」と表記しています。

セットアップ前には周辺機器を接続しないでください

別売の周辺機器（LAN［ラン］ケーブル、USB［ユーエスビー］メモリ、プリンタなど）は Windows のセットアップが終わるまで接続しないでください。

8 初めて電源を入れる

パソコンをお使いになる前に『スタートガイド２　セットアップ編』をご用意ください。

電源を入れたあとは、『スタートガイド２　セットアップ編』の手順に進みます。

時間に余裕をもって作業してください

Windows のセットアップをした後は、パソコンを使えるようにするための準備が必要です。パソコンの準備には、半日以上の時間をとり、じっくりと作業することをお勧めします。

接続を確認する

◎ ケーブルはグラグラしていませんか？

奥までしっかりと差し込まれているか、　もう一度お確かめください。

接続例については、『ＦＭＶ取扱ガイド』の「パソコンの取り扱い」にある「電源を入れる／切る」をご覧ください。

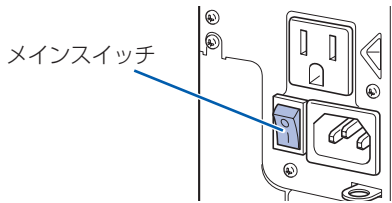
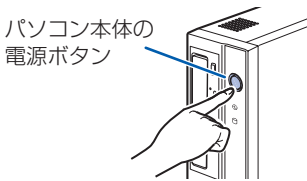
電源を入れる

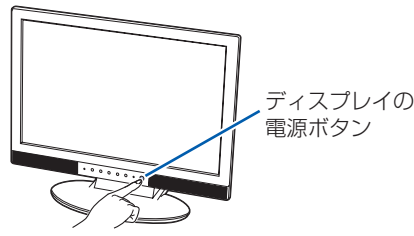
電源を入れてから、「Windows のセットアップ」画面が表示されるまで、10 ～ 20 分程度かかります。
この間、絶対に電源を切らないでください。

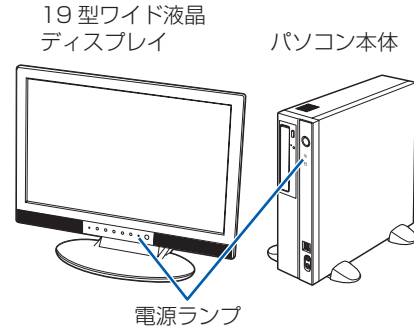
1. **パソコン本体背面のメインスイッチを「|」側に切り替えます。**

   一度「|」側に切り替えたら、このパソコンを起動するたびに切り替える必要はありません。

メインスイッチを切り替えると

電源ケーブルをコンセントに接続し、メインスイッチを「|」側に切り替えると、数秒間電源ランプが点灯して電源が入ったような状態になりますが、故障ではありません。

2. **パソコン本体の電源ボタンを押します。**

3. **ディスプレイの電源ボタンを押します。**

   ディスプレイの電源ケーブルをアウトレットに接続している場合、接続後に一度電源を入れると、以後はパソコンの起動に合わせて電源が入ります。パソコンを起動するたびに電源を入れる必要はありません。

4. **パソコン本体とディスプレイの電源ランプ（⏻）が緑色に点灯していることを確認します。**

   電源が入ると、画面に文字などが表示されます。

5. **『スタートガイド２　セットアップ編』をご用意ください。**

   このあと、「Windows のセットアップ」を行います。

6. **そのまましばらくお待ちください。**

   電源を入れると、次のような画面が表示されます。この間、一時的に画面が真っ暗な状態が続いたり（1 ～ 3 分程度）、画面に変化がなかったりすることがありますが、故障ではありません。**絶対に電源を切らないでください。**途中で電源を切ると、**Windows が使えなくなる場合があります。**

   「Windows のセットアップ」画面が表示されるまで、電源を切らずにそのままお待ちください。

このあと『スタートガイド２　セットアップ編』をご覧になり、「Windows のセットアップ」を行ってください。